

# 油糧用ヒマワリの播種時期と脂肪酸組成

福島県農業総合センター 作物園芸部  
平成19年度農業総合センター試験成績概要

## 1 部門名

普通畑作物 - その他 - 作型・栽培型  
分類コード 02-99-18000000

## 2 担当者

平山孝

## 3 要旨

ヒマワリの子実には、本来リノール酸が多く含まれており、近年はリノール酸の過剰摂取が問題視されるようになったことから、オレイン酸含有率を高めた改良品種が開発・栽培されている。中オレイン酸品種である油糧用ヒマワリ「春りん蔵」(ホクレン)について、播種時期と採取子実の脂肪酸組成について検討した。

- (1) 5月上旬から8月上旬まで順次播種したヒマワリの脂肪酸組成は、播種時期が遅くなるほどオレイン酸含有率が減少して、リノール酸含有率が増加する傾向が見られた。
- (2) 窒素成分0～9kg/10aの範囲で施肥量を変えて施用しても、オレイン酸含有率に差は見られず、施肥量は脂肪酸組成に関係しないものと判断された。
- (3) 5月播種の「春りん蔵」の採取子実におけるオレイン酸含有率は63%以上であり、ナタネのオレイン酸含有率を上回った。
- (4) ヒマワリ「春りん蔵」の中オレイン酸品種としての特性を活かすには、播種時期を早めるほど有利であると考え

## 4 その他の資料等

なし